

# あぶた福祉会

第57回

「デイセンターいちばんぼし  
ぼしクリスマス会」

12月15日(土)、伊達市のホテルローヤルにて、デイセンターいちばんぼしのクリスマス会を行いました。利用者35人、職員9人、総勢44人が一堂に会し、クリスマスには10日ほど早いながらも、賑やかな会となりました。

当日は、職員2人と利用者4人が、クリスマス会が始ま



クリスマス会を楽しむ皆さん

る1時間半ほど前に会場入りし、クリスマスツリーの飾り付けや、必要な器具のセッティングなどを行い、クリスマスらしい素敵な会場を演出して、みんなが到着するのを今か今かと待っていました。

そして、いよいよ、利用者を乗せたバスが到着し、利用者が次々に会場に入ってくる、先に着いていた利用者や職員に挨拶している声がいっつもよりトーンも高く、わくわくしている様子が手に取るように分かりました。

全員が席に着くと、待ちに待ったクリスマス会開始の合図である、乾杯のときも「皆さん、席を立ててください」と言われる前に、すでにほとんどの人が立ち上がって、グラスを胸の前で構えているほどで、「乾杯」と明るい声を上げながら、周囲の人とグラスを合わせるみんなの笑顔は、作業で見せる笑顔とは数

段違って見えました。

余興は、職員によるダンス披露、利用者のゲーム(輪ゴムリレー)、カラオケを行いました。ダンスでは、流行した「U・S・A」の曲に合わせた職員が正面ステージでダンスをし、その後、もう一度曲を流すと、ダンスが好きな利用者がステージに上がり、自分なりの振り付けで踊っていました。利用者のカラオケでは、事前に希望を取っていたのですが、当日、さらに歌いたいと希望する人が多数いて、予定時間を超えるほど大盛り上がりでした。輪ゴムリレーは、口にストローをくわえて、輪ゴムを渡していくゲームで、なかなか難しく、輪ゴムを落としては拾いと苦戦しながらも、最後の人へと輪ゴムを渡していました。

そしていよいよ会もクライマックス、ライトダウンした会場内にクリスマスソングが

流れ、「メリークリスマス！」

という掛け声が聞こえたと思うと、サンタクロースが現れ、クリスマスプレゼントが一人ひとりに手渡されました。今年、あぶた福祉会家族の会からいつもより多めのプレゼント代を用意していただき、今までより予算が上がった分、利用者も、プレゼントの希望を取る時に、かなり悩み、迷っていましたが、手渡されたプレゼントを開けた途端、「わあ、いっぱい入ってる」と喜びと驚きの声を上げていました。希望通りのプレゼントを探すのは大変で、大人数なので、休みの日に何軒も店を回って、予算内で、希望した物を購入するのは大変でしたが、苦労が報われた瞬間でした。

最後は、工藤所長からのあいさつがあり、クリスマス会は閉会となりました。2時間という時間はあっという間に流れ、みんな、プレゼントを抱きしめて、余韻を楽しみながらホテルの玄関を出ました。帰りのバスの中でも、「楽



クリスマスプレゼントをもらう利用者

しかったね」という言葉が飛び交い、幸せな時間を過ごすことができました。

クリスマス会から数日間経っても、プレゼントを見せびらかしながら、クリスマス会のことを話題にして、来年のクリスマス会は「どこでやるのだろう」「カラオケでは何を歌おうかな」などと、すでに一年も先に気持ちが高揚してしまっている様子でした。大きな期待に込めて、来年も、利用者が幸せな夜を過ごすことができるような、企画を立てていきたいと思います。

(支援員 M・S)